

令和4年1月24日

職員各位

鳳凰会グループ  
林 名誉会長

### 変異株「オミクロン株」について（所感）

わかっていた事ではありますが、オミクロンの猛威を目の当たりにすると、『やはり、すごいなあ！』、としか言いようがありません。

米国や欧州はエンデミックと言い出しましたが、やはり、まだパンデミックでしょう。

陰謀論ほどいい加減で面白いものはありません。

『信じるも信じないもあなた次第です』ですから。

新型コロナのパンデミックの初期に、このウイルスは中国で人工的に作られた、と噂がたちました。

もともと中国の研究所は米国と中国で造り、安全を米国が担い、何か研究してたと言われて

います。米国が撤退した後、安全を仏国が担い、その時期に研究所の実験動物から新型コロナ感染が始まったとの話があります。

新型コロナの遺伝子構造には、エイズ・デング熱などの遺伝子の配列を認めるとの論文も、米国・英国・仏国などから発表され、その論文をベースに新型コロナにエイズ治療薬やデング熱の治療薬が有効ではないかと、患者さんに治験投与されました。

今、目にしたはずのそれらの論文は見あたりません。

また、精子の能力を20%近く劣化させるとの幾つかの論文も見つかりません。

今は、遺伝子配列のことは否定されています。

はるか昔の過去の気がしますが、まだ2年前のことです。

中国は新型コロナの流行の初期から、東京と同じような1000万人以上の人口を持つ大都市を、新型コロナ患者が出たら簡単にロックダウンしています。

以前はデルタ株（ $\delta$ 株）で命を守るためと理解できます。

オミクロン株（ $\omicron$ 株）はインフルエンザと同じと米国や欧州が言っているくらい重症化する罹患者が少ないのに、相変わらず中国はゼロコロナ政策を続けています。

数週間後には中国で、冬季五輪がありますから今は理解できます。

五輪が終わっても、中国は重症化が少ないオミクロン株でもゼロコロナ政策を続けるのか、私は興味津々です。

もし、五輪後もゼロコロナ政策を続けるなら、何か情報があつてのことなのか、と邪推してしまいます。

もし、オミクロン株が感染した人の神経細胞なり、どこぞの細胞に潜み、エイズのように数年後に本格的な発症メカニズムを持っていたとしたら、もし精子の能力を20%近く劣化させるとしたら、100年後には中国人の人口は世界人口の50%近くになるのかも知れません。

100年計画をする、頭が良く忍耐強い中国だけに、陰謀論としては面白く語れます。

今のオミクロン株の感染状況ですと、人混みにわざわざ行き感染する人以外は、もう交通事故に合ったのと同じような感じがします。

どんなに、自分が気をつけていても付き合いのある方が同じように気をつけていない限り、感染は起こります。

ましてや、乳幼児や小学生低学年生などは、言われた事を守る子供がおそらく少ないでしょうし、何故か身体を密着させる行動も多いですから、感染確率は大人より高いです。

やはり、子供からの家庭内感染は防ぎようがありません。

オミクロン株は重症化しないと普通に飲み歩いている人達も、最近よく目にします。

このような人達は、自分から人に移しても悪いとは思わないのでしょうか。

そんなこんなしているうちに、新しい重大な変異が無ければ4月末くらいには、オミクロン株の感染も一段落するでしょう。

まだまだ、先は長いですが、職員の皆様には、『会う方は全員オミクロン株を持っている』と考え、さらに慎重な行動をとられる事を切にお願い致します。

以上